

教科書はP227を開いて準備してください。

地震のゆれはどのように伝わるのか

地震のゆれの記録

図1を見てそれぞれの言葉の意味を理解しよう。

ここで図3を見て下さい。それぞれの言葉の意味がよくわかると思います。「初期微動」「主要動」「初期微動継続時間」を理解してね。図3の記録(地震計の記録)から分かるように地震のゆれは「カタカタカタカタ・・・ガタンガタンガタン!」という感じ。この「カタカタ・・・」のうちに避難行動がとれるとよいね。カタカタ時間(初期微動継続時間)の長さがどれだけかだね。

- ・地震が発生した場所・・・()
- ・その真上の地点・・・()
- ・初めの小刻みなゆれ・・・()
- ・そのあとの大きなゆれ・・・()
- ・初期微動継続時間 ()

地震のゆれの大きさ

震度0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、強、7 の10段階

実習1

理科の学習

理科の学習P108の実習1をやってみよう。

(考察)

実習1の結果,では10秒、20秒、30秒の線はどんな形?そしてそこから考えられる事を書きましょう。「・・・ということから・・・ということがわかる」という書き方で書きましょう。

地震の波

- ・地震のゆれ・・・()波と()波の2つが同時に発生
 - ・()波は()波より速い→()波が先に()波が遅れて到達
- この時間差が ()
- この時間は**震源距離に比例して長い**

緊急地震速報に利用されている。

地震の規模

- ・地震の大きさ→地震の()の大きさを表す()という記号()
- 1大きいとエネルギーが約()倍になる

この値が大きいほどゆれが伝わる範囲が広い。

震源の深さとMと震度の関係

震源の深さが同じ2つの地震→Mが大のほうは震央付近の震度は()い

Mが同じ2つの地震→震源が浅いほうは震央付近の震度は()い

《まとめ》

今回の授業を振り返って分かったことをここに書こう!(どう書いていいのかわからない場合は教科書の「まとめ」うつしてもよい。

《振り返り》

ノートが一番下にこのような枠を作ってください。「振り返り」にはこの授業の内容にかかわる感想(「楽しかった」「よく分かった」だけでなく「〇〇が・・・ということがわかった」「今まで〇〇だと思っていたけど〇〇だと分かった」など。)を書きましょう。

《自己評価》

ここは5段階評価(5 4 3 2 1)で授業の出来具合を書きましょう

